

家庭医療を深める、広げる。

Centre for
Family
Medicine
Development

CFMDとは…

家庭医療の教育・研究活動、
診療所開発により、
地域の人々の健康状態の向上に
資することを使命とする
センターです。

Mission

未来の家庭医療のリーダーを育む



創造的かつ地域基盤型医学教育研究の成果を反映した内容のプログラムで、日本や世界各地で家庭医療のリーダーとして活躍できる人材を育成します。

研究、在宅、リーダーシップ 探求心を満たす多彩なフェローシップ



家庭医としてさらに学び続けるためのフェローシッププログラムを運営しています。リサーチ（PhD取得）、在宅医療（専門医取得）、リーダーシップ・トレーニングの3つのフェローシップがあります。

日本の、世界の家庭医療を拓く研究拠点



診療所を基盤とし、現場の中で得られた仮説や疑問に対して、その現場で解明する研究ネットワークです。家庭医療に関する研究活動をすすめる、日本および世界の家庭医療学の発展に寄与します。CFMD-PBRNはAHRQ（Agency for Health care Research and Quality；アメリカ合衆国保健福祉省の一部局である医療研究品質庁）に認定されました。

家庭医療の実践を行う診療所の開発



医療福祉生協の診療所を中心として、効率的・効果的で質保障された家庭医療の実践を行うモデルとなる診療所づくりを行います。

Centre for Family Medicine Development

家庭医療学開発センター

CFMD家庭医療学レジデンス・東京

地域をベースに世界の「知」を学ぼう

CFMD副センター長
プログラム責任者
久地診療所所長

喜瀬 守人



CFMD東京は、複数の都市型診療所によって運営されている、全国的にみてもユニークなプログラムです。診療所での臨床を通して地域と関わる楽しさと奥深さを、毎月開催されるレジデントデーで家庭医療の理論と実践の深いつながりと知を学ぶことができます。診療所という最も地域に根ざした場所をベースにしながら、世界中の家庭医療に関するさまざまな知的刺激を得られる、そんなプログラムです。興味をお持ちの方はぜひ見学にいらしてください。

専門医研修プログラム

定員 5名
研修年限 連動プログラム4年間
日本プライマリ・ケア連合学会認定 家庭医療専門医
(プログラム名：CFMD家庭医療学レジデンス・東京)
日本専門医機構認定 総合診療専門医
(プログラム名：CFMD家庭医療レジデンス東京)
(基幹施設：川崎医療生協 久地診療所)

CFMD東京は『家庭医療専門医』を希望する方のみ採用となります。

応募をされる方については、事前に教育診療所の見学をすることを必須とします。ご了承ください。

見学・情報・プログラム説明のお申込みは



ホームページ



Instagram



お問い合わせ
フォーム



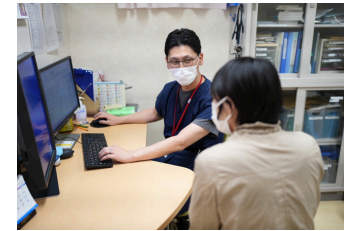
日本医療福祉生協連合会

家庭医療学開発センター

Centre for Family Medicine Development



CFMD家庭医療レジデンス・東京 家庭医療専門医研修プログラム



都会の診療所で、
家庭医療を学ぼう。



CFMDの4年間は 仲間、指導医と共に積み重ねる。

日常的な振り返り



外来や訪問診療を1日の終わりに1例ずつ振り返ります。家庭医療学的な考え方を日常診療から学ぶことができます。

レジデントデイ (月1回)



2学年と指導医が集合し、研修の振り返りと家庭医療の学びを深めます。普段会えない他部署の指導医からもフィードバックがもらえます。毎回ディスカッションが盛り上がります。

専門研修修了者数
42名 (2025年時点)
修了後のキャリア：
診療所勤務、開業、病院総合医、フェロウシップコースでの研修継続、研究など

オンライン輪読会

『『卓越したジェネラリスト診療』入門』輪読会や、「Swanson's Family Medicine Review」の勉強会を行なっています。



レジデントセミナー (月1回)



レジデントが全員集合し、家庭医療学のコアレクチャーや、レジデントのニーズに沿ったテーマで学習会を行います。レジデント同士の仲も深まります。



4年 診療所

3年 内科/選択

2年 小児/救急/緩和/選択

1年 診療所 ▶ 病棟

リトリート (年1回)

他の家庭医療専門研修プログラムとの交流会を1泊2日で行います。互いに刺激し合い、将来像が深まります。

ポートフォリオ発表会 (3月)

1年間で作成したポートフォリオやポスターを発表します。この日に向けてポートフォリオを書けるよう、指導医が手厚く指導します。

Q: なぜCFMDを選びましたか?

家庭医療の専攻医って何を学ぶかよくわからないな〜マジで家庭医療の道に進むのが正解なんか?って思ってる時に、レジデントを見学して「家庭医療を学ぶってこういうことか!」「家庭医として成長していくってこういうことか!」ってのを指導医にも専攻医にも教えてもらえました。また見学した中で1番レジデントが楽しそうにディスカッションしてたのが大きかったです!



宮古島で内科研修中
3年目レジデント
森さん



診療所研修中
2年目レジデント
曾根さん

全国各地の著名なプログラムを見学しましたが、家庭の事情的に関東がよく、「東京で家庭医療学を学ぼうと思ったらCFMDしかない」と思いました。実際に入って自分の専門性、強みを明らかにして、それを伸ばすように指導してくれるなと思います。また、外来は孤独になりやすいですが、それを徹底して振り返ってくれるのが安心です。周りも熱量がある人達で刺激を常に受けます。

ワークライフバランスに関してもかなり考慮してくれます。急な休みや早退をしても、周りが理解してくれる環境はとてありがたいです。

CFMDの4年間は 地域に始まり、地域に帰還する。

CFMDのプログラムは大都市の教育診療所を基盤とし、地域における健康格差の拡大、患者層や疾患の多様性、今後予想されている高齢者人口の爆発的増加に対応できる総合診療専門医を養成することを目指しています。連携施設の病院での研修中も、週1日は教育診療所での勤務が保証され、患者さんや地域との継続的な関わりができます。

東京



生協浮間診療所

東京



みんなの北診療所

東京



北足立生協診療所

神奈川



あさお診療所

神奈川



久地診療所

神奈川



川崎セツルメント診療所



CFMDセンター長
藤沼康樹

プライマリ・ケア現場をフィールドとした地域に密着した総合診療が家庭医療です。家庭医療には他診療科にはない独自の特徴があります。優れた家庭医になるためには家庭医療のトレーニングが必要になります。ぜひ一緒に学びましょう。